

## 「第7回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」プログラム

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会

### 1. 開催趣旨

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会は、土木学会水工学委員会と土木計画学研究委員会の研究者からなる両委員会共同所管の小委員会として平成14年10月に設立されました。

小委員会では、水工学と土木計画学に携わる研究者および都市と河川行政関係者が今後の流域管理と地域計画の具体的な連携方策について議論し、国土交通省水管理・国土保全局の河川砂防技術研究開発制度等と連携して特定課題について共同研究等を実施することにより、流域管理と都市・地域計画の相互連携による総合的なまちづくりの実現を目指しています。

また、近年、水害が頻発・激甚化するとともに、渇水の頻発や深刻化の懸念が指摘されている中、水害に対する流域の安全性の向上や健全な水・物質循環系の構築等、流域計画・流域管理上の技術課題や政策課題を解決するためには、河川、都市計画の両分野に加え、下水道分野との連携が従来にも増して重要となっており、環境工学委員会との連携の取組も始めたところです。

流域管理と地域計画の連携方策に関する取組やその課題等を土木学会会員と行政で共有するとともに、これらの課題に対する理解を深めることを目指し、平成25年から「流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」を開催しております。皆様のご参加をお待ちしています。

※ 当ワークショップは、「土木学会 CPD プログラム」として認定される予定です。

### 2. 開催日時、場所等

日時：令和元年12月11日（水）14:00～17:30

場所：土木学会講堂（東京都新宿区四谷）<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>

主催：土木学会 流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会、水工学委員会、  
土木計画学研究委員会

### 3. プログラム

#### （1）趣旨説明

- ・立川 康人（京都大学大学院 教授、流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会）

#### （2）基調講演

- ・東京大学教授 加藤 孝明 「洪水災害多発時代におけるまちづくりを考える」

#### （3）話題提供

- ・河川砂防技術研究開発公募研究；谷口 健司（金沢大学 准教授）  
「気候変化下における最大クラス洪水推定と水害リスク変容評価」
- ・河川砂防技術研究開発公募研究；藤見 俊夫（熊本大学 准教授）  
「不確実性下における高潮浸水リスク適応政策の経済評価」
- ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室 室長 平山 大輔  
「防災・まちづくりに求められる技術」
- ・国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官 東 智徳  
「都市計画基本問題小委員会中間とりまとめについて」
- ・国土交通省下水道部流域下水道計画調整官 加藤 智博  
「最近の都市浸水対策の状況」

#### (4) パネルディスカッション

テーマ：洪水災害多発時代におけるまちづくりを考える

話題提供：「今後の気候変動とこれからの流域対策」

◆森本 輝（国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川計画調整室室長）

〈ファシリテーター〉 ◆立川 康人（京都大学大学院教授）

〈パネリスト〉

◆ 奥村 誠（小委員会委員：東北大学 教授）

◆ 田中 尚人（小委員会委員：熊本大学 准教授）

◆ 谷口 健司（金沢大学 准教授）

◆ 藤見 俊夫（熊本大学 准教授）

◆ 森本 輝（国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川計画調整室室長）

#### 4. 参加申し込み

参加費：無料

申し込み方法：令和元年12月9日(月)16時までに電子メールで下記の宛先までお申し込みください。

その際、ご所属・勤務先、お名前、電子メールアドレスをお知らせください。

メールの件名に「流域管理と地域計画の連携方策に関するWS参加申し込み」と記載願います。

(宛先) 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室  
流域管理と地域計画の連携方策に関するWS担当

Tel: 03-5253-8446, E-mail: [hqt-kasenkoubo@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-kasenkoubo@gxb.mlit.go.jp)

※定員（100名）に達した場合は締め切らせていただきます。お早めに申し込みください。



第6回基調講演の様子



第6回パネルディスカッションの様子